

学校だより

横浜市立都岡小学校



せんだん

9月号

令和5年8月31日

備えあれば憂いなし

校長 藤本 萌

残暑の厳しい中ではありますが、夏休みが明けて、学校にまたにぎやかな日常が戻ってきました。久しぶりの登校で会う子ども達の様子は、「おはようございます！」と元気いっぱい挨拶をしたり、恥ずかしそうに会釈したり、大きな作品を得意げに見せてくれたり、たくさん荷物を抱えながら一生懸命歩いていたりと様々でしたが、どの子ども気のせいも少し成長した表情をしているように見えました。楽しい思い出やたっぷりの休養が心の栄養となったのでしょうか。休み明けも体調に気を付けながら、学校の教育活動を充実させていきたいと思えます。

さて、9月1日は「防災の日」となっています。これは、1923年（大正12年）9月1日に起きた「関東大震災」に由来しています。今年はちょうど100年目を迎える節目の年となりますが、調べてみると、東京・神奈川を中心に約190万人もの人が被災、死者行方不明者は10万人以上だったということです。地震発生時がちょうど昼時で、火を使っていた家庭が多かったことから、火事による被害が地震そのものによる被害よりも甚大だったと言われています。本校にも、「大正12年春より、生徒数の増加とともに校地を拡張し校舎を大移転した所、9月1日大地震に遭遇した。すると、理科薬品戸棚より発火したが、在校職員荏原校長以下6名で消火に当たり沈火（本文まま）させた。翌13年4月1日関係者一同、知事より褒状をいただく。」という記録が残っていました。

毎年、この9月1日には、本校でも「総合防災訓練」を行っています。いつ起こるか分からない震度6以上の大地震に備えて、全校の児童たちが迅速に安全を確保できるように行う訓練です。負傷者や火災の発生、校舎内の損壊、水道や電気の停止、行方不明者の捜索なども想定して、全校で大々的に行います。子ども達には、予め大地震が起こった時の心構えや行動の仕方、避難経路などを指導しているので、大きな動揺や混乱もなく避難することができます。児童や職員合わせて400名以上が共に安全に行動するためには、慌てず、騒がず、協力することが大切です。子ども達は教室から校庭までの避難途中、「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」の約束をきちんと守っています。しかし現実に起こった時には、これほどスムーズにはいかないかもしれません。それを常に心に留めながらも、何度も何度も繰り返し訓練することが、いざというときに命を守ることにつながることでしょう。また、本校では地域の方々による「地域防災拠点訓練」も、毎年11月下旬（今年は11月26日、日曜日）に行われています。委員の方々は、日頃から高い防災意識をもち、尽力してくださっているので、是非とも保護者の方々もお子さんを連れて積極的に参加していただけたらと思います。

日本は、地震に限らず、自然災害の起こりやすい国です。「備えあれば、憂いなし」。この機会にご家庭でも、いざというときの対応や家族の約束ごとを、お子さんと話してみてください。安全に、安心して過ごせる毎日でありますよう、今月もよろしく願いいたします。